

美弥子は夢を見た。
 美弥子は森の中を歩いてた。
 森の奥には、湖がある。
 済みきった水面を覗いても、底が見えない程に深く冷たい湖だ。
 畔には、色とりどりのオケチャビン達が午睡の最中。
 美弥子が近づくと、中でもビビッドな赤色をしたオケチャビンが目目を覚ました。
 目と目が合うと、赤オケチャビンは元々赤い顔をさらに赤らめながら、恥ずかしそうに森の奥へと去って行く。
 それを合図に、寝ていた他の仲間も目を覚まし、一斉に逃げ出す。
 森の奥に1人たたずむ美弥子。
 静寂が辺りを包む。
 空はダイダイ色の絵の具を溶かした様に焼け、湖は相変わらず冷たい光を放つ。
 よく見ると、湖の周りにはキノコが生えているではないか。
 オケチャビンたちが枕にしていたキノコ。
 その中の一本に美弥子は目を奪われた。
 私だ。
 このキノコ、私の顔をしている。
 このキノコ、軸のうえに私の顔が乗っている。
 このキノコ、逆から読んでもコノキノコ。
 いや、違う。キノコではない。コケシだ。
 私の顔をしたコケシだ。
 コケシ「……。」
 何か呟いてる。私の顔をしたコケシが何か呟いてる。
 コケシ「…れ。」
 は？
 コケシ「…し…れ。」
 何？聞こえない。
 コケシ「…は……し……れ。」
 …はしれ？走れ？走るの？走るったって、何処へ？
 コケシ「は…しれ。」
 だから、走って何処へ行けばいいの？何の為に走るの？
 コケシ「…は……しれ…」
 ね、わかった、とりあえず、走ればいいのね、走ればいいのね！
 コケシ「は…じを…しれ。」
 次の瞬間、美弥子はコケシを踏み潰していた。
 そこで夢は終わる。

電動夏子安置システム vol.001 『丸の内 MENTHOL』

朝、目覚めた美弥子はトイレでヒゲを剃る。
 ふと人の気配を感じ、鏡ごしに見ると、大便の個室から男が出てきた。
 男はシュサイと名乗った。そして、美弥子にプレートを渡す。
 「電」「動」「夏」「子」「安」「置」「シ」「ス」「テ」「ム」
 10枚のプレート。美弥子は無意識にそれを受け取っていた。
 脳裏にリフレインする、コケシの声。
 「はしれ。」
 美弥子は走り出した。
 こうして伝説が始まった。

デンナツ・サーガ 序章より抜粋

質問の内容は、こんな感じです。

～って、どんな奴？（この設問のみ、その役者について他の役者が答えています）
最近職場であった嫌な事はなんですか？
じゃあ、職場であった良かった事は？
最後に、何か一言



高松 亮 (Ryo Takamatsu)

「愛さずにはいられない存在（電夏においてね）」 (渡辺)

小道具の案が全然通らなかった事。
今思えば、小道具の案が全然通らなかった事。
もっと寝たい。

当山 慎也 (Shin-ya Tohyama)

「気絶好き（3回）、ねぼすけ。僕らに¥500 くれる電夏の稼
ぎ頭。」 (中川)

遅刻で罰金を取られすぎる。
旗揚げ公演から参加できて、本当に良かったと思う。
今回が初舞台の私ですが、一回ごとに成長していきたいです
な。



渡辺 美弥子 (Miyako Watanabe)

「男前 No. 1！僕はとってもいい人だなあって思っているけ
ど、斎藤君がボロクソに言っていました。怖いなあ。」 (当山)

思い出せない。
今のバイト見つけて良かった。
観に来てくれてありがとうございますこれからも。

中川 崇宏 (Takahiro Nakagawa)

「おっかい人。私を上の方からイジめるのはやめて下
さい。こわいです。でも面白い人です。てゆーかおかし
いです。」 (狩野)

中退。
中退。
プカン私。





小原 雄平 (Yuh-hei Obara)

「小原君はだまっていると、うれしいのある美少年です。
しゃべると%#\$?・!&+\$%。」 (高松)

ありません。
ありすぎて書ききれません。
解雇しないで。

狩野 智子 (Tomoko Karino)

狩野「(電話で)・・・今日ですね、稽古行きません。」

竹田「(電話で)何で？」

狩野「(電話で)・・・お金が無くて、電車乗れません・・・。」

竹田「(電話で)・・・ハイ。」 (竹田)

「スマイル下さい」を言う人を目の前でジャンケンして決めるのは・・・。

チケット買ってくれてありがとう。(^o^)

池袋で「ちょっとお姉さーん」とチャラ男に声かけられたらシカトしましょう。ひたすらシカトです。ニラむと効果的です。ついていくと大変なことになります。皆さん気をつけてください。



斎藤直樹 (Naoki Saitoh)

「社長。代表。あの人のことはよくわかりません。練習にこないから。それであの演技。そして誰とでも話せるとてもやさしい人 (特に女性に)。」 (小原)

竹田氏の存在。

竹田氏の不在。

病気です。遅刻は心の病です。優しくしてください。



竹田哲士 (Tetsushi Takeda)

「私の携帯には、彼の番号が「鬼畜氏」の名で登録されています。」 (斎藤)

赤い原チャリ男が口ずさむ欧陽菲菲。
赤い原チャリ男にもらった赤いジャージ。
成り上がる。



公演情報

電動夏子安置システム 第1回公演

『丸の内MENTHOL』

脚本・演出：竹田哲士

日時：2000年11月18日(土)～19日(日) / 全4回

会場：池袋小劇場

出演：渡辺美弥子 中川崇宏 高松亮 狩野智子 斎藤直樹 小原雄平 当山慎也 竹田哲士

音楽：榊原正吾・竹田哲士・松平信維(演劇工房)

照明：今井昌史・渡辺美弥子・斎藤直樹

舞台：中川崇宏

メイク：越田史子

衣裳：越田史子・喜多悠・戸谷沙織

宣伝美術：オフィス FLIP-TOP

企画制作：オフィス FLIP-TOP

SPECIAL THANKS TO...明治大学演劇研究部 / 演劇工房 / 池袋小劇場 / etc

次回公演のお知らせ

第2回公演『タイトル未定』

作・演出 / 竹田哲士

期 間 / 2001年3月23日(金)～25日(日)

会 場 / 神楽坂 Die Platze

交通 / 営団地下鉄東西線『神楽坂』駅より徒歩8分

有楽町線『江戸川橋』駅より徒歩12分

乞うご期待。

キャスト・スタッフ・お手伝いの募集

電動夏子安置システムは、この11月公演より旗揚げとなり、続く第2回公演を来年3月、神楽坂 die platze にて予定しております。この第2回公演に向け、キャスト・スタッフの募集を行いたいと考えています。

- 応募対象
- ・役者(未経験者可、18歳以上)
 - ・舞台監督、制作、照明 他各スタッフ
(経験・年齢不問、一部応相談)
 - ・その他お手伝いなど

- 応募条件
- ・今回の公演(『丸の内MENTHOL』)を見た
 - ・一緒に面白いものが作りたい

という人であればどなたでも結構です。

まずは本日の公演をご覧になり、そのあとで何かを感じた方は、是非その足でスタッフまで声をおかけ下さい。また本日でなくても、後日オフィス(下記連絡先参照)にご連絡いただいても結構です。

ワークショップ開催

なお12月には都内某所にて、第2回公演参加希望者と現構成員によるワークショップも開催する予定です。お気軽にお問い合わせ(下記欄参照)下さい。

感想・希望・苦情・その他諸々のお問い合わせは、以下の連絡先へお願いいたします。

オフィス FLIP-TOP

TEL/FAX : 03-5567-0637

PHS : 070-5597-2509

e-mail : fliptop@catnip.freemail.ne.jp